

シンポジウム・展覧会・イベント



今年度の DOCOMOMO 主催のイベント企画は、現在、検討が進められています。『群像としての丹下研究室』の著者である豊川斎赫さんの講演会、川口衛先生の講演と見学（代々木体育館）、建築写真家の村井修氏の講演などが予定されています。詳細は次号でお知らせします。

■ 豊川斎赫氏の講演会

日 時：2012 年 11 月 12 日（月）

19：00～21：00

テーマ：未定

場 所：デザインリビングセンター  
OZONE 8 階セミナールーム

DOCOMOMO Japan News Letter  
NO.15 Summer 2012

Page 8

出版物

■ 『近代建築保存の技法』

（テオドール・H・M・ブルーンドン著、玉田浩之編訳、鹿島出版会、6000 円＋税）

DOCOMOMO US 代表、コロンビア大学大学院建築・都市計画・歴史保存学部准教授として、同校の歴史保存プログラムにて 30 年以上も教鞭を執る近代建築保存の第一人者による近代建築の保存の手引き。近代建築の保存に関わるさまざまな論点を丹念に検証し、建築の保存・再生を目指す方法論の構築において、きわめて重要なテキスト。



Preservation of Modern Architecture

■ 『東京女子大学東寮・体育館 失われたレーモンド建築』

（東京女子大学レーモンド建築東寮・体育館を活かす会編著、工作舎、2400 円＋税）

東寮と体育館の二つの歴史的建築の保存運動ならびに解体に至までの全記録。保存要望書、シンポジウム、講演会、見学会、大学当局とのやりとり、書簡、声明文、e.t.c...保存運動に関わる全て資料が網羅されている。資料的価値もさることながら、建物に対する人々の熱い想いが伝わってくる。



■ 『建築遺産 保存と再生の思考 災害・空間・歴史』

（野村俊一＋是澤紀子編、東北大学出版会、3300 円＋税）

東日本大震災の経験し、歴史的建造物を災害からいかにして守るか、その歴史的建造物の存在意義、保存と再生を議論した全 6 回の連続シンポジウムの記録。

■ 『惜椽荘だより』

（佐伯泰英、岩波書店、1500 円＋税）

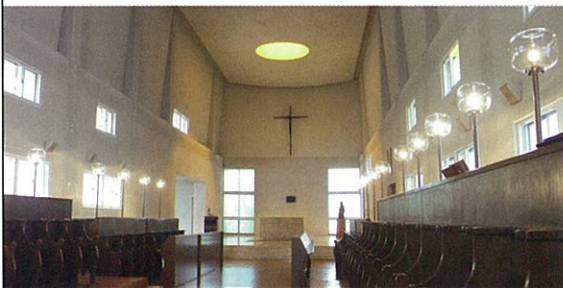
吉田五十八の戦前期の名作『岩波熱海別邸（惜椽荘）』の存立が危ぶまれていたが、時代小説のベストセラー作家である佐伯泰英氏に譲渡され、保存修復が進められていた。本書は、その完成を機に、これまでの経緯を綴ったもの。小説家による異色の保存論。

■ 『群像としての丹下研究室』

（豊川斎赫、岩波書店、4000 円＋税）

戦後の丹下健三の活動を、「丹下研究室」の活動として読み替え、そこで行われた理論的な調査研究と設計との緊張関係を解き明かすことで、従来の丹下論に一石を投じた労作。

DOCOMOMO Japan News Letter  
NO.15 Summer 2012



<西宮トラビステス修道院> Photo by Hanada

DOCOMOMO Japan News Letter Editorial Office  
東京都千代田区神田駿河台 1-8-14 日本大学理工学部建築学科  
大川研究室内 Email : docomomojapan@yahoo.co.jp

FROM EDITOR

ドコモモゆかりの建築家の方々の逝去、ドコモモ新体制の発足など、通常とはやや異なる動向の中で進められた編集作業から、刊行までの期日が予定より大幅に遅れてしまいました。お詫び申し上げます。次回は新体制による様々な活動内容を紹介いたします。

吉田泉さんのご好意により、特別付録として、とても素敵なイラストをお送りすることが出来ました。末尾ながら、改めて、吉田さんに御礼を申し上げたいと思います。（大川）